専攻科看護学専攻　後期

専門基礎科目／専門強化科目

1. 看護心理学

2. 看護管理論

専攻科看護学専攻

科目名:	看護心理学	単位	開講時期	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
		3	後期	専門基礎科目	講義	選択
担当教員:	竹ノ山圭二郎					

授業科目の学習教育目標の概要:

心身の発達及び学習の過程における基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた指導方法や看護上必要な心理検査の基礎を学ぶ。

授 業 計 画		学習内容		担当教員
①クエスト型授業」の進め方、および教育心理学の領域について		【予習復習】授業への動機づけとガイダンス		竹ノ山
②社会性の発達		【予習復習】エリクソンのライフサイクル論		竹ノ山
③認知の発達		【予習復習】ピアジェの発生的認識論		竹ノ山
④学習理論Ⅰ		【予習復習】条件づけ理論		竹ノ山
⑤学習理論Ⅱ		【予習復習】社会的学習理論		竹ノ山
⑥知能と知能検査		【予習復習】知能に関する理論および検査の概略		竹ノ山
⑦主体的学習を支える動機づけの理論		【予習復習】動機づけ理論		竹ノ山
⑧教育評価の考え方		【予習復習】教育評価の理論		竹ノ山
⑨学習の支援者としての教師の役割		【予習復習】教師論		竹ノ山
⑩授業のデザインの基本		【予習復習】授業デザインの基本的考え方		竹ノ山
⑪主体的学びを促進する教授法		【予習復習】アクティブラーニングの考え方		竹ノ山
⑫クラスマネジメントと配慮を要する学習者への支援		【予習復習】学習者支援の基本的考え方		竹ノ山
⑬【演習】指導案の作成		【予習復習】模擬授業の指導案を作成する		竹ノ山
⑭【演習】ミニ模擬授業Ⅰ： 学校教育における授業の実践		【予習復習】模擬授業を実践する		竹ノ山
⑮【演習】ミニ模擬授業Ⅱ： 生涯学習における講座の実践		【予習復習】模擬授業を実践する		竹ノ山
⑯知能検査1:ビネー式知能検査		【予習復習】ビネー式知能検査の概略		竹ノ山
⑰知能検査2:ウェクスラー式知能検査		【予習復習】ウェクスラー式知能検査の概略		竹ノ山
⑱性格検査1:質問紙法検査		【予習復習】質問紙法性格検査の概略		竹ノ山
⑲性格検査2:投影法検査		【予習復習】投影法性格検査の概略		竹ノ山
⑳性格検査3:作業検査法検査		【予習復習】作業検査法性格検査の概略		竹ノ山
㉑乳幼児の発達に関する検査		【予習復習】発達検査の概略		竹ノ山
㉒知覚・感覚に関する検査		【予習復習】知覚検査の概略		竹ノ山
㉓記憶に関する検査		【予習復習】記憶検査の概略		竹ノ山
㉔高次脳機能検査		【予習復習】高次脳機能検査の概略		竹ノ山

成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 60%	: %	実技試験: %	その他: 40% %

使用テキスト:適宜、資料を配布する。	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):「主体的・対話的で深い学び」を実践的に修得するために、クエスト型授業によるアクティブ・ラーニングで学びます。

専攻科看護学専攻

科目名:	看護管理論(キャリア・デベロップメント)	単位	開講時期	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択
		2	後期	専門強化科目	講義	選択
担当教員:	長谷川雅美、岩城直子、大橋達子					

授業科目の学習教育目標の概要:

組織の一員として、多職種と協働しながら質の高い看護をマネージメントするために、適切な看護・・医療を提供するための看護専門職としての制度、キャリア開発、組織内・組織間の調整、諸問題の解決、資源活用について考え、学ぶ。

授 業 計 画	学習内容	担当教員
①オリエンテーション	看護管理論(キャリアデベロップメント)について、授業の進め方	大橋
②③リエゾン精神看護	リエゾン精神看護の開発と導入の実際	長谷川
④⑤がん看護	がん看護専門看護師の養成と専門職としての役割、活動	岩城
⑥⑦病棟管理の理想と現実	臨床での挑戦と挫折と成果:看護管理者の戦い	大橋
⑧⑨NP、CN,、CNS	各領域で活躍する現職者の活動の実際	岩城
⑩⑪課題学習(インタビュー込み)	学生の課題学習時間一現場のインタビューを含む	(学生)
⑫ー⑮発表	学生個々1題ずつ課題学習した内容を発表する	長谷川・ 岩城・大橋

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 0 %	レポート: 30 %	発表: 60 %	実技試験: 0 %	その他: 10 %

使用テキスト:	その他参考文献など:
適宜資料を配布する。	

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
医療・福祉の最先端で活躍する看護の専門職の活躍の実際を知り、学生が将来のキャリアアップを思い描けるように、臨床の現場や世界の看護職者の役割と実際から自身のキャリアを構成する機会とする。